

Biz Clip調査レポート(第43回)

企業のビジネスチャット利用実態調査2023

2023.11.08

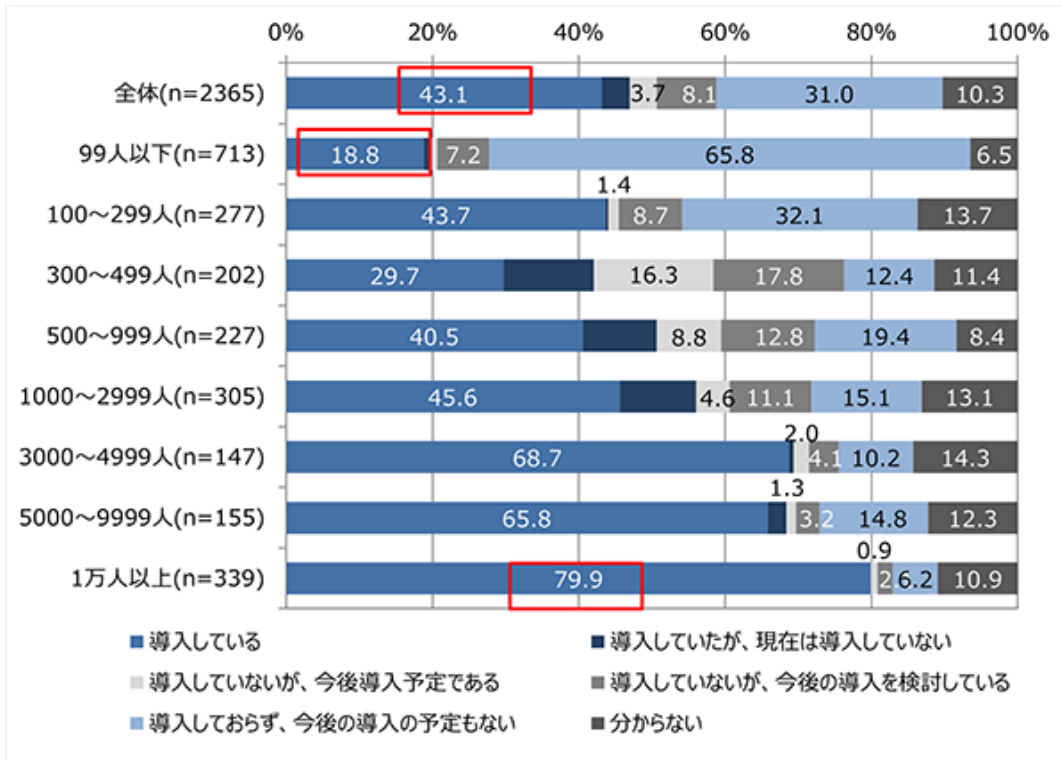


コロナ禍収束の兆しが社会全体に認識されつつある中、オフィス回帰への動きも活発化しつつある。それに伴い、対面での商談や、職場でのリアルなコミュニケーションの増加を感じる読者も多いのではないだろうか。では、働き方改革の実現やテレワーク・リモートワークなど多様化する社内コミュニケーションの円滑化に向けて利用される「ビジネスチャット」の活用度合いやツール選定はどうなっているのだろうか。その利用状況について、日経BPコンサルティングのアンケートシステムにて、同社保有の調査モニター3197人を対象に調査を実施した。

利用サービスの約7割は「Microsoft Teams」

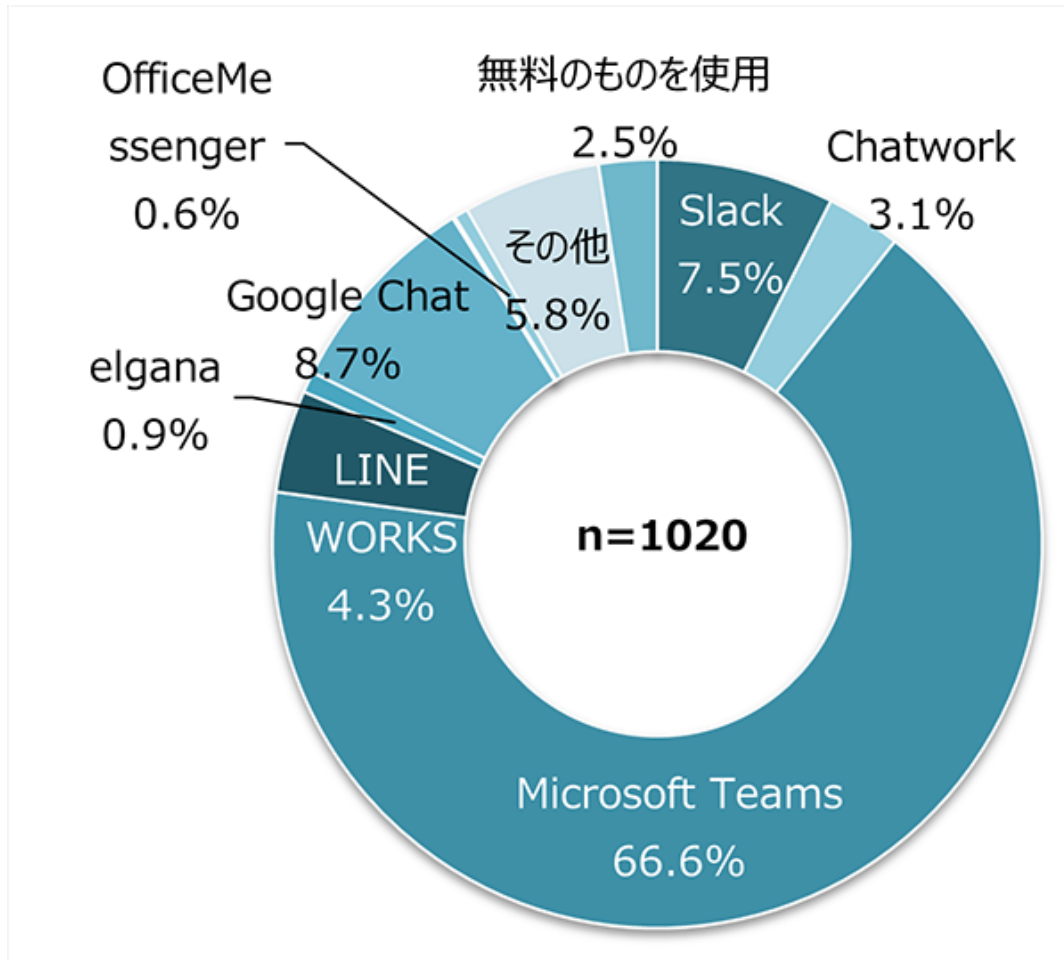
まず、ビジネスチャットの勤務先導入状況について尋ねた。「導入している」と答えたのは43.1%、「導入しておらず、今後の導入予定もない」が31.0%となった。従業員規模別に見ると、導入比率は99人以下の企業では18.8%、1万人以上の企業では79.9%という結果となり、「導入している」との回答は前回調査から微減となった(図1)。

【図1 ビジネスチャットの導入について】



次に導入済みと回答した層に、メインで使用するビジネスチャットが何かを聞いた。1位は「Microsoft Teams」(66.6%)、2位に「Google Chat」(8.7%)、3位は「Slack」(7.5%)が続いた。これら以外には、「LINE WORKS」(4.3%)、「Chatwork」(3.1%)が続き、「無料のものを使っている」層も2.5%存在した。Google Chatについては、前回の3位から2位に上がり、前回2位のSlackと順位を入れ替える形となった(図2)。

【図2メインで使用しているビジネスチャット】



ビジネスチャット利用層の6割超が「ほぼ毎日頻繁に活用」… 続きを読む